

政策情報学コース

専攻分野：文化研究

メディア表現演習

糊沢 順 教授



この演習では、デジタルメディアを用いたあらゆる表現手法の研究および制作、発表を行う。

今後世界はデジタルネットワークを中心にあらゆる社会システムが再構成されることが明確に確認されている。海外の政治、経済が変革を進めているなかで、日本だけは10年遅れていると他国から指摘されている。デジタル社会の最も先端にいるのは、膨大なデータをどのように解釈し表現し政策、社会の構築を実行していくのかを実践している分野である。それは映画、テーマパーク、ゲームといったエンターテインメントを通じてゆっくりと浸透させられている。

すでに現状のコンテンツ制作手法は過去のものになっている。それが他国の言う10年遅れているという一つの意味でもある。メディアすら過去のものが未だに社会にしがみついている。過去のメディアを研究しても今確実に進化しているメディアは理解できないのが現状である。

ここをしっかりと意識し、世界がどのようにデジタル社会を構築し、どこに向かっているのかを政策コンテンツとしての表現を研究、実践し、社会に向けてプロデュース提言の出来るクリエイターとなることを目的とする。